

平成 30 年度ふれあい広場事業 開催要綱

落語家・手話落語家 林家とんでん平 手話落語&講演会 テーマ「笑って深まれ福祉の和」

1 目 的

本会では、年齢や性別、障がいのあるなしに関わらず誰もが暮らしやすいまちづくりを目指し、障がい者や高齢者等の自立、社会参加・地域交流を促進するため、ふれあい広場事業を実施します。

2 内 容

千歳市では、平成 30 年 3 月に手話を言語として位置付けて聴覚障がい者への理解を促す、「手話言語条例」が制定されたことから、今年度は、聴覚障がい者との出会いから手話落語を始め、国内外に手話落語を広めている落語家の林家とんでん平氏に手話落語等をお話ししていただき、市民に聴覚障がい者や手話に対する理解を深めていただきます。

【林家とんでん平プロフィール】

落語家・手話落語家

1952 年 小樽市出身、現在札幌市在住

1978 年 師匠・初代林家三平の笑いの芸と迫力を目の当たりにし、感動し入門を決意

1979 年 小樽から東京まで 1,000 km をリヤカーを引いて入門の旅

1980 年 初代林家三平最後の弟子になる。

林家三平師匠死去後に林家こん平師匠門下へ移る。

1986 年 二つ目昇進 東京から与那国島 2,000 km 高座付きリヤカー落語行脚へ

1990 年 聴覚障がい者の方との出会いから「障がいのある方もない方も、みんな一緒の場所で落語を見て笑ってほしい」と手話落語を始める。

1992 年 高座付きリヤカーで本州一周 4,000 km の手話落語行脚へ

1994 年 真打ち昇進 子どもの病気の治療のため、札幌市に移住

1998 年 国外では初の、手話落語と文化交流をデンマークのろう学校で行う。

2000 年 福祉活動に関心を寄せ、札幌市議会議員に出馬し当選
以後、2015 年まで 3 期 12 年務める。

2008 年 手話落語で日本テレビ「笑点」に出演

2016 年 全国 6,000 km の落語行脚を行う。

現 在 札幌を拠点として落語一筋に全道・全国で活動中

3 主 催 社会福祉法人千歳市社会福祉協議会

4 後 援 千歳市、千歳市共同募金委員会、千歳身体障害者福祉協会、千歳手話の会、北海道手話通訳問題研究会道央支部 千歳・恵庭班、千歳要約筆記の会「やませみ」、手話サークルしらかば、千歳聴力障害者協会

5 と き 平成 30 年 12 月 9 日（日）14 時～15 時 30 分

6 と ころ 千歳市総合福祉センター 4 階 402 号室（千歳市東雲町 2 丁目 34）

- 7 参加対象 千歳市民、興味のある方ならどなたでも
- 8 定 員 150 名（会場の都合で定員になり次第、締め切らせていただくことがあります）
- 9 参加費 無料
- 10 申込方法

参加ご希望の方は、12 月 3 日（月曜日）までに、電話・FAX・メール・郵送などで、氏名・住所・電話番号をご記入（連絡）の上、下記宛にお申し込みください。

なお、会場の都合で定員になり次第、締め切らせていただくことがありますので、予めご了承ください。

11 その他

当日は手話通訳及び要約筆記の対応があります。

12 申込先及び問合せ先

社会福祉法人千歳市社会福祉協議会（担当：総務課ボランティア係）

〒066-0042 千歳市東雲町 1 丁目 11 番地 千歳市社会福祉協議会事務所 2 階

千歳市ボランティアセンター

TEL：0123 - 27 - 2525 / FAX：0123 - 27 - 2528

E-mail：c-shakyo@chitose-shakyo.or.jp



ふれあい広場事業は、赤い羽根共同募金の
助成を受けて実施されています。